

佐世保工業高等専門学校入学者選抜実施要項

(平成16年11月4日制定)
(平成20年7月3日改正)
(平成21年7月2日改正)
(平成23年6月2日改正)
(平成24年4月1日改正)
(平成25年4月1日改正)
(平成29年4月1日改正)
(令和2年4月1日改正)
(令和3年10月20日改正)

(趣旨)

第1 この要項は、佐世保工業高等専門学校(以下「本校」という。)が実施する入学者選抜試験の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(学力検査による入学者の選抜)

第2 学力検査による入学者の選抜は次の各号により行うものとする。

(1) 募集人員

学科名	募集人員	備考
機械工学科	40名	推薦による募集人員(入学定員の50%程度)及び帰国生徒特別選抜(若干名)を含む。
電気電子工学科	40名	
電子制御工学科	40名	
物質工学科	40名	

(2) 出願資格

- ① 中学校を卒業した者または見込みの者
- ② 中学校に準ずる学校を卒業した者または見込みの者
- ③ 義務教育学校を卒業した者または見込みの者
- ④ 中等教育学校の前期課程を修了した者
- ⑤ 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則95条)

(3) 志望学科の選定

機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科の4学科のうちから第3志望まで選定することができるものとする。

(4) 選抜方法

学力検査による入学者の選抜は、学力検査、出身学校からの調査書などの総合判定により行う。

(5) 学力検査

学力検査は、理科・英語・数学・国語・社会の5教科についてマークシート方式により行う。

(推薦による入学者の選抜)

第3 推薦による入学者の選抜は次の各号により行うものとする。

(1) 募集人員

学科名	募集人員	備考
機械工学科	20名程度	推薦による志望学科は第1志望に限る。
電気電子工学科	20名程度	
電子制御工学科	20名程度	
物質工学科	20名程度	

(2) 出願資格

中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程を修了見込みの者又は文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者で、次の要件を満たし、在籍学校長が責任をもって推薦する者

- ① 人物が優れていて、技術者としての適正が認められる者
- ② 学業成績については、以下(ア)・(イ)の何れかの基準を満たす者
 - (ア) 在籍学校における第1学年から第3学年までの9教科(選択教科を除く)の成績が5段階評価で合計 110 以上のもの
 - (イ) 在籍学校における第1学年から第3学年までの9教科(選択教科を除く)の成績が5段階評価で合計 102 以上、かつ、理科及び数学の3年間の5段階評価の平均がそれぞれ4以上の者
- ③ 本校に入学する意志が強固であって、合格した場合は必ず入学する者

(3) 選抜方法

学校長から提出された推薦書、調査書及び面接の総合判定により行う。なお、面接は集団面接とし、入学者に求める能力と適性等を評価する。

(帰国生徒特別選抜)

第4 帰国生徒特別選抜は次の各号により行うものとする。

(1) 募集人員

若干名

(2) 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、選抜年度の前々年4月以降の帰国者)で、次のいずれかに該当する者

- ① 中学校を卒業した者または見込みの者
- ② 中学校に準ずる学校を卒業した者または見込みの者
- ③ 義務教育学校を卒業した者または見込みの者
- ④ 中等教育学校の前期課程を修了した者
- ⑤ 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則 95 条)

(3) 志望学科の選定

機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科の4学科のうちから第3志望まで選定することができるものとする。

(4) 選抜方法

帰国生徒特別選抜は、学力検査、面接及び出身学校からの調査書などの総合判定により行う。

(5) 学力検査

学力検査は、理科・英語・数学・国語の4教科についてマークシート方式により行う。

(6) 面接

面接の一部において、全学科とも社会科に関する口頭試問を行う。

(第4年次編入学者の選抜)

第5 第4年次編入学者の学力による選抜、推薦による選抜は次の各号により行うものとする。

(1) 募集人員

学 科 名	編 入 学 年 次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 物 質 工 学 科	第 4 学 年	若 干 名

(2) 学力による選抜

1) 出願資格

- ① 工業高等学校を卒業した者または見込みの者
- ② 高等学校の工業に関する学科を卒業した者または見込みの者
- ③ 中等教育学校の工業に関する学科を卒業した者または見込みの者
- ④ 高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者
- ⑤ 中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者

2) 志望学科

学 科 名	出 身 校 に お け る 所 属 科 等
機 械 工 学 科	普通科、理数科、機械科、電子機械科、機械システム科等
電 気 電 子 工 学 科	普通科、理数科、電気科、電子工学科、情報技術科等
電 子 制 御 工 学 科	普通科、理数科、電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	普通科、理数科、工業化学科、化学工学科、材料技術科等

3) 選抜方法

学力試験の成績、在籍(出身)高等学校長からの調査書及び面接等の結果を総合して行う。

4) 学力試験の内容

- ① 学力試験は筆記試験を行う。
- ② 出願資格①～③の者についての出題する科目及びその範囲は、次のとおりとする。

	科 目 名	出 題 範 囲
機 械 工 学 科	機 械 工 作	工業材料、鋳造、溶接、塑性加工

専 門 科 目		機 械 設 計	力と運動、仕事と動力、材料の強さ 機械要素と設計(軸受、ばねを除く。)
	電 気 電 子 工 学 科 (必須科目は全員受 験、選択科目は3科 目中2科目を選択)	電気基礎(必須科目)	電気と磁気、静電気、直流回路計算、交流回路計算
		電子回路(選択科目)	半導体と半導体素子、電子回路
		電子情報技術(〃)	論理回路、論理代数、P進数
		電気機器(〃)	直流機、変圧器、誘導機
	電 子 制 御 工 学 科	電 気 基 礎	磁気と静電気、電気回路、電子回路
		プログラミング技術 ソフトウェア技術	ソフトウェアの基礎、プログラミング(C言語・アルゴリズム)
物 質 工 学 科	工 業 化 学	元素の性質と化学結合、溶液の濃度、物質の状態と変化 (気体、酸化還元、速度、平衡を含む)、酸・塩基、有機化合物	
	化 学 工 学	化学工学に関する単位、物質収支、流体輸送、熱の移動	
一 般 科 目	各 科 共 通	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B(数列・ベクトル)
		英 語	コミュニケーション英語Ⅰの全範囲

機械工学科、電気電子工学科及び物質工学科の専門科目については、関数電卓の使用を許可する。
(ただし、ポケットコンピュータは不可)

③ 出願資格④、⑤の者についての出題する教科及びその範囲は、次のとおりとする。

教 科 名	学 科 名	出 題 範 囲
英 語	全 学 科	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ
数 学	全 学 科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B(数列・ベクトル)
理 科	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科	物理基礎、物理(原子の領域は除く)
	物質工学科	化学基礎、化学

(3) 推薦による選抜

1) 出願資格

次に掲げる者で、下の推薦条件(ア)(イ)(ウ)を全て満たし、在籍学校長が責任を持って推薦できる者とする。

- ① 工業高等学校を卒業見込みの者
- ② 高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者
- ③ 中等教育学校の工業に関する学科を卒業見込みの者

推薦条件

- (ア) 人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲のある者
(イ) 学科(クラス)での成績が現員の上位10%以内(1・2年次の平均)の者
(ウ) 本校に入学する意志が強固であって、合格した場合は必ず入学する者

2) 志望学科

学 科 名	出 身 校 に お け る 所 属 科 等
機 械 工 学 科	機械科、電子機械科、機械システム科等
電 気 電 子 工 学 科	電気科、電子工学科、情報技術科等
電 子 制 御 工 学 科	電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	工業化学科、化学工学科、材料技術科等

3) 選抜方法

在籍する学校長から提出された推薦書、調査書及び面接の総合判定とする。なお、面接では基礎的な問題について口頭試問を行う。

(専攻科の入学選抜)

第6 専攻科の学力による選抜(前期・後期)、推薦による選抜及び社会人特別選抜(前期・後期)は次の各号により行うものとする。

(1) 募集人員

専 攻 名	募 集 人 員	選 抜 区 分	選 抜 人 数
複 合 工 学 専 攻	16名	推 薦 に よ る 選 抜	8 名 程 度
		学 力 に よ る 選 抜	8 名 程 度
		社 会 人 特 別 選 抜	若 干 名

(2) 学力による選抜

1) 出願資格

- ① 高等専門学校を卒業した者または卒業見込みの者
- ② 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第 58 条の 2(同法第 70 条第 1 項及び第 82 条において準用する場合を含む。)の規定により大学に編入することができる者
- ③ 短期大学を卒業した者または卒業見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程を修了した者または専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入することができる者
- ⑤ 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2) 出願区分

A 群	本校が定める出願資格を有している者で、 ・「佐世保高専・技術者プログラム」を修得している者及び修得見込みの者。 ・他の教育機関で JABEE 認定コースを修得している者及び修得見込みの者。
B 群	本校が定める出願資格を有している者で、A群以外の出願者。

3) 選抜の方法

学力試験、英語資格試験取得申請書、調査書及び面接の総合判定により行う。

4) 学力試験科目及び出題分野

科目分野	区分 (系列)	学 力 試 験 科 目 及 び 出 題 分 野	
一般科目	共 通	数 学	微積分(偏微分、重積分を含む)、線形代数、常微分方程式
専門科目	機械工学系	熱力学、流体力学、材料力学、材料学、機械工作法 (関数電卓を必ず持参すること。)	
	電気電子工学系	電気磁気学、電気回路、電子回路、電気機器、情報処理	
	情報工学系	コンピュータ工学、電気・電子回路、電気磁気学、制御工学	
	化学・生物工学系	物理化学、生化学、有機化学、無機・分析化学、化学工学 以上5科目から3科目を選択。 (関数電卓を持参すること)	

(3) 推薦による選抜

1) 出願資格

高等専門学校卒業見込の者で、次の要件を満たし在籍学校長が責任をもって推薦する者とする。

- ① 第3学年と第4学年の成績が原則として在籍したクラスの上位2分の1以内である者又は技術士第一次試験に合格した者。
- ② 選抜期日から起算して2年以内に取得した TOEIC 公開テスト又は TOEICIP テストのスコアが350点以上の者。

2) 出願区分

学力試験に同じ。

3) 選抜の方法

推薦書、調査書及び面接(専門科目に関する口頭試問を含む。)の総合判定により行う。

(4) 社会人特別選抜

1) 出願資格

所属する企業等の長が推薦する者で次の各号のいずれかに該当し、かつ企業等就業期間が出願時において1年以上ある者。

- ① 高等専門学校を卒業した者
- ② 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2(同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。)の規定により大学に編入することができる者
- ③ 短期大学を卒業した者または卒業見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程を修了した者または専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち、学校教育法第

132条の規定により大学に編入学することができる者

- ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2) 出願区分

学力試験に同じ。

3) 選抜の方法

所属長から提出された推薦書、調査書及び面接(専門科目に関する口頭試問を含む。)の総合判定により行う。

第7 この要項に定めるもののほか、入学者選抜実施に関し、必要な事項は別に定める。